

能勢建築構造研究所 半世紀の節目祝う 技術磨き100周年目指す

能勢建築構造研究所は23日、設立50周年記念祝賀会を大阪市の帝国ホテルで開いた。社員のほか前社長の永谷芳郎氏らOBも含め約70人が参加した。

開会に当たりあいさつに立った横田友行社長は「（創業者である）能勢善樹さんの命日にも当たるきょう、式典を開くことができ縁を感じる。皆さんとともに歴史の1頁を刻むことができ、うれしい。構造設計の仕事も変化しつつある中、能勢建築構造研究所にしかできない技術を磨き、100周年を目指していこ

う」と訴えた。

大浦眞専務東京支社長



の音頭で乾杯、懇親に移った。クイズ大会などのアトラクションも行われ、会場は大いに盛り上がった。

同事務所は1960年に初代社長でもあった能勢善樹氏が開設した「能勢建築事務所」がルーツ。69年に「能勢建築構造研究所」となり2月で50周年を迎えた。所員数は現在52人。大阪を拠点に東京と福岡に支社を置き、構造設計業務を中心に病院や学校、近年ではホテルや超高層マンション、木造建築など、幅広い建築物の設計に携わっている。